

人間健康福祉学部の設置計画履行状況（平成21年6月25日 文部科学省報告 抄）

平成20年4月に設置した聖カタリナ大学人間健康福祉学部の設置計画の履行概要については次のとおりです。

(1) 設置計画変更事項等概要

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>①履修科目の登録制限 1年間に履修科目として登録できる単位数の上限は60単位とする。</p> <p>②校舎等施設の整備計画 健康福祉マネジメント学科の健康スポーツマネジメント専攻における学びの環境に必要なトレーニングセンターの整備と必要な機器備品の整備に努める。</p> <p>③入学者選抜の概要 推薦入試、一般入試、センター利用入試</p> <p>④建学の精神 本学の建学の精神は「愛と真理」である。</p>	<p>①届出時に60単位としていたが、単位の実質化について精査を図り、開設時に50単位とした。</p> <p>②健康スポーツマネジメント専攻のみならず、大学全体の健康を管理・増進する教育・研究の場とし、トレーニングセンターに併せて保健室、カウンセリング室も組み込んだ、ヘルスプロモーションセンターを開設した。</p> <p>③多様な入試方法に対応するため、A0入試を取り入れた。</p> <p>④建学の精神「愛と真理」の具現化を目指し、次のスクールモットーを掲げた。 「Charity for Your Neighbours」(St. Catherine of Siena) 訳語「隣人を愛しなさい」「隣人を大切にいなさい」</p>

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 ・平成17年9月聖カタリナ大学FD委員会を設置</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 【すべて全員参加】</p> <p>平成20年4月1日 (1)新任教員研修会について、(2)授業公開について、(3)授業評価アンケートについて、(4)FD研修会について</p> <p>平成20年5月8日 (1)平成19年度後学期授業評価について、(2)平成20年度FD委員会活動方針について (3)平成20年度前学期授業公開について</p> <p>平成20年11月7日 (1)後学期授業公開について、(2)後期授業評価アンケートの実施について、 (3)前学期授業評価アンケートの結果について、(4)四国地区大学教職員能力開発ネットワークについて</p> <p>平成21年2月17日 (1)自己点検評価報告書の改善方策について、(2)SPODの予算消化について、(3)FD研修会について</p>
--

② 実施状況

新任教員研修会…新任教員に対して本学の建学の精神、教育理念等について研修を行った。

授業公開(前学期・後学期)…授業の改善を図るため、専任教員の講義形態の全開講科目について、本学教員、事務職員、本学学生の保護者に公開した。

FD委員研修…私大連主催FD推進会議(同志社大学):1名参加

学生による授業評価(前学期・後学期)…授業の改善を図るため、ゼミおよびゼミに準ずる科目、オムニバス科目、体育実技を除く全開講科目で授業評価アンケートを実施。

授業評価アンケートについてのガイダンス…基礎演習、専門演習担当教員に協力を依頼し、授業評価の意義を伝えるガイダンスを後学期授業評価アンケート実施前に行った。

SPOD(四国地区大学教職員能力開発ネットワーク)への参加…SPODに加盟し、活動を行った。SPODは、四国地区の高等教育機関の連携によりFDとSDの発展を図るものである。

FD研修会(学内)…2009年度からの全学本格導入に備え、グループウェアソフトについての説明会を開催した。

参加者は22人であった。

③ 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1. 新任教員が本学の建学の精神、教育理念を理解することは必須のことであり、今後も継続して実施する。
2. 授業公開という活動が定着するように今後も取り組みを続ける。
3. 授業評価アンケートは適正に実施され、授業改善の貴重な資料となっている。しかし、一部のアンケートの自由記述において不適切な記述が認められるので、学生に授業評価の意義をより理解させる方策を立てる。
4. SPODへの参加は、本学のFDを大きく前進させる機会になり今後も積極的に活動に参加する。
5. 2009年度においても教育改善、授業技術の向上のために研修会を開催する。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

①設置の趣旨・目的達成に関する総括評価・所見

聖カタリナ大学の社会福祉学部は、今まで以上に健康やスポーツに関わる教育研究の充実を図る必要があるとの認識に立ち、平成20年4月1日に「人間健康福祉学部」として改編した。

このことは、今までの福祉に関する教育研究を継承しながらも、健康やスポーツに関する教育研究を充実・強化し、心身の健康や健全な発達、成人の生活習慣病やメタボリックシンドロームの予防や改善、高齢者の介護予防や生活の質の向上、スポーツや運動を通じた健康づくりや生き甲斐づくり、健康やスポーツに関わる事業のマネジメント等に関する教育研究の充実強化を目指すものである。

「人間健康福祉学部」は、すべての人が健康で心豊かに暮らしていける「健康福祉社会」の創造に向けて、社会福祉学科と福祉経営学科を再編し、社会福祉学科と健康福祉マネジメント学科という構成に改め、前者は従来通り社会福祉専攻と介護福祉専攻を、後者には新しく福祉マネジメント専攻と健康スポーツマネジメント専攻を置き、それぞれの専攻の目的に則した人材育成をスタートした。

こうして、平成20年4月に人間健康福祉学部としての一步を踏み出したが、「社会福祉士・介護福祉士法」の改正を受け、21年4月入学生から適用するカリキュラム変更を余儀なくされ、届け出から1年後には教育課程を変更せざるを得なくなった。

しかしながら、設置の趣旨に示す、教育研究の目的、人材養成の目的、教育課程編成の方針については、届け出時から、いささかも変わることなく教育を遂行している。

また、福祉の中でも新しい分野の教育研究であることから、就職に関しても、2年次(本年度)から準備を進めるよう考えている。

新学部を設置した頃から福祉現場の待遇面がマスコミに取り上げられ、福祉業務への若者離れがすすみ、福祉系学部への進学者も激減し、本学にあって、20、21年度にわたり定員を充足させることが出来なかった。今後の福祉の動向を注視し、カリキュラムの充実と定員の確保に最善の努力を行う。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成24年3月 公表（予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成21年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受ける。